

事業番号	09 04 01	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に応える園芸産地育成事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	①オリジナル品種や新品目・新技術などの導入、②実需者等の要望に応える生産・流通体制の整備、③園芸産地が持続的・安定的に供給量・品質を確保できる生産の仕組みづくりを進めることにより、競争力の高い園芸産地づくりを実現する。 【達成指標】果樹オリジナル品種の出荷開始時期前進 [(通常H30初出荷) → H27:10t、H28:20t]、3中央卸売市場の4~5月本県アスパラガス入荷量 [H22:260t→H29:350t]、トルコギキョウ10月~11月切花本数 [H22:108万本→H29:250万本]						
現状(予算編成時)	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の約65%(園芸作物1,969億円/全体3,021億円 H25県推計)を占める主要部門であり、引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。近年の食の外部化や需要の多様化の進行に対して、「売れる物をつくる」という視点から、①新品目・新品種・新作型等の早期産地化への取組み②実需者ニーズに対応した生産体制の確立や普及、が一層求められている。						
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、農業者等の主体的な参画と協同を促す。長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) 果樹オリジナル新品種早期産地化プロジェクト実証圃 10カ所、アスパラガス産地化プロジェクト取り組み面積12ha、アスパラガス4~5月出荷量300t、トルコギキョウ秋出荷作型モデル地域3地域(JA)、需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区12地区						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27実施内容	H26(当初)	H27(要求)	H27(予算案)
		需要に応える園芸産地育成事業	補助金	新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト(3件)、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業(補助先:JA全農長野、園振協うまくだ推進部会、産地JA、農業者組織団体等)	43,500	43,500	43,500
	アスパラガス産地化プロジェクト		アスパラガス1年養成苗の供給による早期産地拡大				
			合計	43,500	43,500	43,500	
事業コスト	成果目標の達成状況						
	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	項目
	前年度繰越						H26末(見込)
	当初予算	45,500	43,500	43,500	43,500	43,500	目標
	補正予算						H27
	合計(A)	45,500	43,500	43,500	43,500	43,500	成果
	一般財源	45,500	43,500	43,500	43,500	43,500	達成状況
	県債						H28
	国庫支出金						目標
	その他	0	0	0	0	0	
決算額(B)	45,500	43,500					
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
概算人件費	2,477	2,477	2,477	2,477	2,477		
概算事業費(B(A)+C)	47,977	45,977	45,977	45,977	45,977		
指摘事項等への対応	(指摘事項等)			(対応)			
要求からの主な変更点	要求どおり						